

市民がつくる豊かなふるさと船橋プラン

—安心して住み続けられる—ずっと住み続けたい船橋市へ—

明るい船橋民主市政の会 市長選挙基本政策

1、若者に希望を与え子育てしやすいまちをつくりま

- 子育ての経済的な負担を減らすため、保育料や幼稚園保育料の軽減、学校給食費の無料化を進めます。
- 保育園の不足を一日も早く解消します。
- 教員不足を解消し、少人数学級を進めます。
- 大規模校・プレハブ校舎、バス通学の解消のため学校を増設します。
- 老朽化した小中学校の施設を整備し、トイレの洋式化と体育館のエアコン設置を進めます。
- 高校生までの医療費無料化、給付制奨学金制度を創設します。
- 子どもの貧困を解消するために力を尽くします。
- 若者の雇用確保に力をつくします。

2、高齢者や障がい者が安心して暮らせるまちをつくりま

- 国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険料の引き下げ、医療費や介護利用料を軽減し高齢者の暮らしを支えます。
- 子どもや高齢者、障がいのある人が安心して歩けるように、通学路など身近な道路の改善を抜本的に強化します。
- 防災空地や災害時の避難路を整備し災害に強いまちづくりをすすめます。

3、災害に強い自然豊かなまちをつくりま

- 公園整備や緑地の保全を抜本的にすすめる、市民が公園や緑のあるまちを実感できるようにします。
- 農地を保全し農を生かしたまちづくりをすすめる都市農業と緑の環境を守ります。
- 無謀な海老川上流域開発は中止します。

- 三番瀬の自然を守るためラムサール条約に登録し、船橋の漁業を支えます。

4、活気と落ち着きのある豊かなまちをつくりま

- 特別養護老人ホームや障がい児者の「暮らしの場」を増設します。
- 市営住宅の増設や家賃補助制度、住み慣れた地域で暮らし続けたい願いをかなえる住替え支援制度をつくりま。
- 中小零細業者、農漁業者支援で地域循環型経済の活性化にとりくみます。
- 住宅リフォーム助成制度の復活や、市が直接行う小口融資制度の創設、商店街活性化事業を推進します。公共事業で基準労賃（設計労務単価）が現場労働者の給料に反映する制度（公契約条例）を創設します。
- 市内産食材の学校給食への利用推進など市内での消費を増やします。
- 再生可能エネルギーの地産地消を推進し、地球温暖化ガスの発生を抑えます。
- 図書館の指定管理者制度を撤回し、直営の図書館ネットワークを充実させます。
- 市民が気軽にスポーツや文化に親しめる施設を整備し、充実した運営でスポーツや文化を発展させます。

5、平和を発信するまちをつくりま

- 憲法違反の安保法制=戦争法に反対します。
- 習志野・下総自衛隊基地の強化や米軍の共同使用に反対します。木更津基地のオスプレイの定期整備拠点化の撤回を求めま。
- 戦争の悲惨さを語り継ぐ平和事業をすすめる、核兵器廃絶を求めま。
- 市民運動や政治活動の自由を守ります。

◆内心の自由を侵す「共謀罪」を国民世論で廃案に!



日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160 関根和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
 金沢和子 ☎422-5278 中沢 学 ☎493-8140
 坂井洋介 ☎404-2039 松崎さち ☎090-6156-8592
 佐藤重雄 ☎432-9872 渡辺ゆう子 ☎462-7273



前列中央が藪内好(やぶうちたかし)さん

6月に行われる船橋市長選挙に、元船橋市立中学校の教師で美術家の、藪内好(やぶうちたかし)さんが立候補を表明しました。さまざまな市民団体や日本共産党も参加する「明るい船橋民主市政の会」が擁立します。

藪内さんは「子育て・教育第一優先で全国最高水準を目指す」と訴え、「保育料の軽減や給食費の無料化」「学校トイレの改修・体育館のエアコン設置」「高校までの医療費無料化」「給付制奨学金の実施」などを掲げています。また、交通アクセスの改善、災害に強いまちづくりに力を入れたいと訴えています。

4年前に誕生した現松戸徹市長は、市長就任と同時に「接遇日本一」を掲げましたが、保育所の待機児童対策の遅れで待機児童数が全国ワースト2位を記録す

船橋市長選 (6月11日告示 18日投票)

オール船橋 ヤブ内好(タカシ)

さんが立候補表明

る状況となり、多くの若い世帯が苦しめられました。子育て世代が求める経済的支援に取り組みようとしません。さらに、教員不足で担任が配置できない学級が22クラスも出てしまう、トイレなど校舎の老朽化など教育環境も問題です。

その一方で、20年以上もストップしていた海老川上流地区での大規模開発を復活させ、お金の市の職員も注ぎこんで進めています。このままですらば船橋市は莫大な費用負担をしなければならなくなりま。

船橋市の財政力は中核市45市中第6位で剰余金残高は241億円もあり豊かです。この豊かさを大規模開発につき込むのではなく、子育て・教育や災害に強いまちづくりに活かす市政に変えましよう。

日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

6月15日(木)
7月14日(金)

弁護士が相談を受けます
労働相談も受けています
会場：中央公民館
時間：午後1時～4時
要予約 ☎436-3030